

平成30年度 第5回燕・弥彦地域公共交通会議会議録

日時：平成30年12月20日（木曜日）午後9時30分

場所：燕市吉田公民館（3階）大ホール

出席者（敬称略）

委員 会長 燕市長 鈴木 力  
副会長 弥彦村長 小林 豊彦  
国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長 井藤 太亮  
国土交通省 北陸信越運輸局 新潟運輸支局  
首席運輸企画専門官 関谷 浩（代理）  
新潟県 燕警察署長 澁谷 正夫  
新潟県 西蒲警察署 交通管理係長 五十嵐 真樹（代理）  
新潟県 三条地域振興局 企画振興部長 中野 誠  
東日本旅客鉄道株式会社 助役 服部 龍男（代理）  
一般財団法人新潟県地域医療推進機構（新潟県立燕労災病院指定管理者）  
事務部長 渡辺 健一郎  
新潟県立吉田病院 事務長 小野 敏則  
地域公共交通の利用者  
（分水地区）若林 與一  
（燕地区）竹井 満喜子  
（吉田地区）中村 カホル  
（弥彦村）坂井 洋一郎  
（弥彦村）藤原 あい子  
日本労働組合総連合会 新潟県連合会県央地域協議会 事務局長 渡辺 治  
三条市 市民部環境課長 永井 努  
燕市観光協会 事務局長 山崎 悦次  
新潟交通観光バス株式会社 潟東営業所 所長 高澤 由樹  
越佐観光バス株式会社 専務取締役 佐藤 洋彰（代理）  
ウエスト観光バス株式会社 代表取締役 小林 文夫  
株式会社燕タクシー 代表取締役 竹内 邦彦  
株式会社中央タクシー 代表取締役 阿部 傳  
中越交通株式会社 常務取締役 浅野 吉信（代理）  
まきタクシー有限会社 代表取締役 青柳 大  
地蔵堂タクシー有限会社 専務取締役 中村 一成（代理）  
弥彦タクシー株式会社 代表取締役 星山 洋一

燕市企画財政部企画財政課副主幹 五十嵐 潤一（代理）  
燕市都市整備部長 土田 庄平  
燕市産業振興部長 小澤 元樹  
燕市健康福祉部長 佐藤 徳子  
燕市教育委員会教育次長 山田 公一  
弥彦村総務課長 山岸 喜一  
弥彦村建設企業課長 丸山 栄一  
弥彦村観光商工課長 高橋 信弘  
弥彦村福祉保健課長 三富 浩子  
弥彦村教育課子ども教育係長 石川 秀雄（代理）  
（計 37 名）

欠 席： 新潟大学 准教授 藤堂 史明  
公益社団法人新潟県バス協会 専務理事 高橋 清吉  
弥彦村観光協会 会長 神田 睦雄  
越後交通株式会社 三条営業所 所長 吉原 康幸  
（計 4 名）

事務局： （燕市）  
市民生活部長 高野 光郎、生活環境課長 杉本 俊哉  
生活環境課長補佐 亀山 修、交通政策係長 鈴木 義享  
（弥彦村）  
弥彦村総務課長補佐 田村 孝穂

燕・弥彦地域公共交通網形成計画策定業務受託者：ランドブレイン株式会社 名田 雅  
希

次第：

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - (1) 燕・弥彦地域公共交通網形成計画（修正素案）について
  - (2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について
4. その他
5. 閉会

会議資料：

- 資料1 燕・弥彦地域公共交通網形成計画（修正素案）
- 資料2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）
- 参考資料 燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）修正箇所一覧

## 1. 開会

### 【事務局】

おはようございます。時間前ではございますが、資料の確認をさせていただきたいと思っております。本日机上に配布させていただきました会議の出席者名簿、配席図を1枚ずつ、そして資料2の地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）でございますが、事前に配布させていただきました資料に数値、文言の訂正がございましたので、本日机上に配布した物と差し替えをお願いいたします。大変申し訳ございません。

続いて、事前に配布させていただきました本日持参いただくようお願い申し上げておりました会議資料につきまして、次第と、資料1の燕・弥彦地域公共交通網形成計画（修正素案）、参考資料として燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）修正箇所一覧でございます。資料の不足等ございませんでしょうか。

## 2. あいさつ

### 【事務局】

お時間になりましたので会議を開催させていただきます。本日はお忙しいところご出席を賜りまして大変ありがとうございます。これより平成30年度第5回燕・弥彦地域公共交通会議を開会させていただきます。私は事務局を務めます生活環境課の杉本でございます。よろしくお願い申し上げます。

それでは、次第によりまして、本交通会議の会長でございます、燕市長がご挨拶を申し上げます。

### 【会長】

おはようございます。年末のお忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。短い期間で第3回、4回、5回とご参加いただき、心から感謝を申し上げたいと思っております。また、日頃から関係事業者の方には大変お世話になっております。特に、運行事業者の方には日頃から尽力を賜っておりまして厚く御礼申し上げたいと思っております。本日の会議はこれまでの皆さんのご意見を踏まえ、素案という形でスケジュールや目標等を盛り込んだ計画になりましたので、ご意見頂戴できればと思います。また、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）についても議事に入れさせていただいています。限られた時間ですが、引き続き忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。そして年明けにも会議を予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

**【事務局】**

議事に入る前に本日の出席状況についてご報告いたします。出席者名簿をご覧ください。委員数 41 名の内本日の欠席者は 4 名でございます。出席者は代理出席の方 8 名を含めまして 37 名となっております。過半数のご出席をいただいておりますので燕・弥彦地域公共交通会議設置要綱の規定に基づきまして、本日の会議が成立していることを、ご報告申し上げます。

また、前回同様、計画策定業務を委託しておりますランドブレイン株式会社にも本日同席いただいております。

それでは議事に入りますが、本日の終了予定時刻は 11 時を予定しております。長時間となりますがスムーズな進行にご協力いただきますようお願い申し上げます。それでは議事の進行につきまして、設置要綱に基づき会長よりお願いいたします。

**3. 議事**

**【会長】**

それでは、議事 (1) 燕・弥彦地域公共交通網計画 (修正素案) について、説明をお願いいたします。

**【事務局】**

《資料 1 について前回会議からの修正箇所を中心に参考資料と合わせて説明》

**【井藤委員】**

65 ページの評価指標について、成果指標の中に圏域住民 1 人当たりの利用回数とありますが、こちらは圏域住民だけ算出しているのでしょうか。それとも住民以外の観光客等も含んでいるのでしょうか。

**【事務局】**

ご質問いただきました圏域住民 1 人当たりの鉄道 5 駅の年間利用回数につきましては、※印にありますように、年間輸送人員÷年度末総人口で算出します。年間輸送人員につきましては、JR さんが毎年発表されている数字を基にしていきたいと思っております。圏域住民に限らず来訪者の方の人数も含まれてくると解釈しております。

**【中野委員】**

66 ページの方針 3 の 1～5 について、69 ページに細かく書かれている詳細と順番が不整合になっているので修正をお願いします。

もう一点、69 ページにあるモビリティマネジメントという言葉はカタカナ用語でして、調べてみると「コミュニケーションをよくとって、望ましい方向へ。住民の方が自発的に。」という「自発的に」という言葉が強く強調されていました。それを踏まえると方針3の3.4モビリティマネジメントの推進の施策案にある「◆公共交通利用説明会、乗り方講座等の開催」は、行政側から一方的な矢印が向いているのではないかと受け取れたので、もう少し矢印が双方に向かうような、住民の方のイメージが湧くような施策が入れると、理解が広まり、より住民の方が自ら公共交通を使っていこうという方向に向かうのではないかと思います。

#### 【事務局】

ご指摘いただきました66ページについて、大変申し訳ございませんでした。次回までに修正いたします。

2点目の69ページの3.4モビリティマネジメントの推進につきましては、57ページに用語解説を入れております。ご意見いただきました相互方向への意味合いを出すような施策について、再度検討させていただきます。ありがとうございました。

#### 【井藤委員】

重要なのは計画に基づいて何をしていくのかだと思います。具体事業が67ページ以降に並んでいますが、「検討」で終わっているものが散見されます。具体的な事業内容を書き込むことになっておりますので、検討を進めていただいて、事業が具体化された段階で適時、計画の変更を考えていただければと思います。

#### 【事務局】

ありがとうございます。そのように進めたいと思います。

#### 【会長】

他になければ、この素案をパブリックコメントや議会への説明の手順を踏みながら、そこで出てきた意見と、本日いただいた意見を反映して第6回の会議でお示するという形にさせていただきたいと思います。

続きまして、議事の2に移ります。地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について、説明をお願いいたします。

#### 【事務局】

《資料2について説明》

**【井藤委員】**

おでかけきららん号の⑤にある乗車人数を抑えて運行したというのは、たとえば本来6人乗せれるところを2人までといった予約制限を行ったということでしょうか。

**【事務局】**

昨冬、大雪のため、きららん号が動けなくなったことがあります。運行する際に、予約者に連絡をいれて、どうしても行きたいということであれば、予約を受け付けて運行したという状況です。

**【会長】**

他にないようであれば、この案を承認して、運輸局に提出いたします。

4. その他

**【事務局】**

今後の計画策定に向けた会議等の予定についてお知らせがございます。

12月21日に燕市12月定例議会、議員協議会において、本計画の素案について説明いたします。弥彦村につきましては12月17日の12月定例議会、議員懇談会で説明済みでございます。

そして12月21日から来年1月10日まで、パブリックコメントを実施いたします。

その後、これまでの本会議での意見の他、市議会、協議会での意見、パブリックコメントを踏まえて、計画案をさらに修正し、2月6日（水）に第6回燕・弥彦地域公共交通会議において、最終計画案を協議していただく予定にしております。開催は午後2時に燕市役所つばめホールにて行うことを予定しております。

その後、両市村の3月定例議会で計画案を説明し、3月末までに国や関係機関、委員の皆様へ本計画を送付する予定となっております。

このようなスケジュールとなっておりますので、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、来年2月にもう一度お集まりいただき、ご協議いただきたいと思いますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。事務局からは以上です。

**【会長】**

事務局から説明いただきましたとおり、来年もう一度会議がありますのでよろしくをお願いいたします。それではせっかくの機会ですので、委員の皆様から何かご発言があればお受けします。

#### 【会長】

前回、弥彦村住民代表の方から、おでかけきららん号について、午前中が人気なので他の時間帯にまわっていただく調整をしていますが、需要がある時間に合わせて供給量を調整することはできないでしょうかというご提案があったと思います。これについて、実際に運行されている事業者さん、現状の課題等状況を説明していただくと有り難いです。

#### 【竹内委員】

おでかけきららん号を利用いただいている住民の皆さま、運行に協力していただいている市村には大変感謝しております。おでかけきららん号は、役に立たないから辞めてしまえと言われるのではなく、増便の声をいただけるのは有り難いことだと思っております。おでかけきららん号は一律 300 円、タクシーは 680 円で距離に応じて増額するので、実質タクシーの 4 分の 1、3 分の 1 の料金です。運行方法はドアトゥドアで、周辺自治体のデマンドに比べても住民の方の利便性は良いかと思っております。スタートする時は、あまり利便性が良いとタクシー事業を圧迫するのではという事業者からの意見がありました。そのような中実現しており、利便性はかなり良いと自負しております。

今回、増便の意見をいただきましたが、今後さらに土曜日や夜の運行等の要望も出てくると思います。私の正直な感想としては、努力が結ばれぬ、頑張っているのに、と思ってしまう。ごくまれに予約が取れないこともあります、「そんな時にはタクシーでも乗ってあげよう」と思ってくれてもいいのになあと思ってしまうのが正直な所です。今回のご意見は午前中の増便ですが、6 社 1 台ずつ運行しており、増便となると車両を増やすのは難しいです。現状でもかなり利便性が高いことも考慮していただき、これ以上の増便はご容赦していただけないかと思っております。

別件ですが要望としまして、現在運賃を安く運行していますが財政的にも厳しく、値上げを検討していただきたいと思っております。400 円、500 円になったとしても一律料金ですし、タクシーに比べれば便利な乗り物であり続けることに変わりないと思います。事業者として値上げを考えていることを頭に入れておいていただくと有り難いです。

#### 【会長】

今回の計画の中では、少しでも改善できる方策を考えていきたいと思います。先程運輸局さんからもありましたが、全て解決策まで盛り込むということがいろいろ調整もありますので、そういったことを踏まえて検討し修正しながら進みますので、今後も随時ご意見いただければと思います。

**【中村委員】**

年に数回皆さん集まって会議を開き、ご意見、ご指摘を受けて事務局がきちんと修正した資料を見ると運行サービスの満足度が82.1%と出ていました。近所で公共交通を利用している方に意見を聞いたところ、土曜、日曜日の運行等の要望もありましたが、とにかく有り難いという声が多いです。このように満足度も高く、住民の声を聞いても有り難いと思っている方が多いことは、とても素晴らしいことだと思いますので、これからも大変でしょうが持続していくことをお願いいたします。

**【会長】**

ありがとうございます。そうやっていただけると携わっている人間はとても嬉しいと思います。

他にご意見がないようですので、事務局にお返しいたします。

**5. 閉会**

**【事務局】**

それでは閉会にあたりまして、副会長であります小林村長よりご挨拶お願いいたします。

**【副会長】**

年末の大変お忙しいなか、ご出席いただいてありがとうございました。おかげさまで計画策定の最終段階を迎えられました。今日は本当にありがとうございました。

**【事務局】**

ありがとうございました。

それでは、以上を持ちまして閉会とさせていただきます。

皆様ありがとうございました。

以上